

一般質問発言通告書

発言順位 2 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

平成28年11月29日

三島市議会議長 松田 吉嗣 様

三島市議会議員 14番 佐野 淳 祥



質問事項1	感震ブレーカー設置の状況について
具体的内容	静岡県第4次被害想定で三島市では南海トラフによる震度5強から6弱の揺れが想定がされ、昭和56年以前の旧耐震基準では震度5程度には耐えられるが、5強や6弱では、倒壊する危険性が高いといわれる。耐震工事に補助がされているが、以下に質問する。
	1. 三島市全体の住宅耐震化率の状況と推移について
	2. 住宅耐震化率の高い地域と低い地域の状況と推移、ならびに対策について
	平成27年2月に「感震ブレーカー等の性能評価ガイドライン」が整備され、経済産業省は「感震ブレーカー等の普及が求められ」、「すべての地域の住宅などに施設することを推奨」している。平成26年11月議会で通電火災と感震ブレーカーについて質問した際に、「周知を徹底する」との答弁があったが、現在どのような状況か、以下に質問する。
	3. 震災停電後、通電前に管轄の東京電力は、通電火災を防ぐための個別訪問をするのか。
	4. 感震ブレーカーが自主防災マニュアルに掲載されるようになったが、普及はどの程度か。
	5. 普及の必要性がある地域をモデルに、目標設定をしたらどうか。
	6. 感震ブレーカーの助成制度を導入し、普及への弾みをつけたらどうか。
質問事項2	オリンピック文化プログラムと三島市の歴史と文化
具体的内容	日本遺産登録を目指す「箱根八里旧街道」は、30年以上前、三島青年会議所と小田原青年会議所の諸先輩方による運動で注目を浴びる存在となった。以降、青年会議所は継続して箱根西麓事業を展開し、平成15年のエコパーキング新・箱根八里石碑8体の設置には、私も関わった。また、西部地区の旧街道沿いにある千貫樋は、北条家・今川家・武田家による500年ほど前の建築（大正12年改築）とされ、伊豆国と駿河国を結ぶ農業用水として重要な歴史的建造物であるが、未整備なエリアでもある。オリンピック開催を迎える玄関都市として、文化プログラムの魅力的資産となりえる三島市の歴史と文化のPRを、以下に伺う。
	1. オリンピック文化プログラムに対しての三島市の考え方
	2. 静岡銀行と横浜銀行が取り組む「県境の観光振興」と連携を図ることはできないか。
	3. 三島青年会議所と小田原青年会議所を「箱根八里街道観光推進協議会」に参加させることはできないか。
	4. 千貫樋は、歴史まちづくり計画の指定候補に挙がっているが、指定に向けた課題はなにか。
質問事項3	三島市民文化会館に求められる駐車場対策
具体的内容	平成23年6月議会よりたびたび指摘している文化会館の駐車場問題であるが、劇場法の制定により、地域の実演芸術団体が、文化会館で活動しやすくならなければならない。そのうえで、市民等で構成される団体にとって駐車場の確保は大きな障害となるため、改善が求められるが、以下に伺う。
	1. 平成25年9月議会答弁の「民地部分の利活用を妨げない進入用道路の幅員の確保が借地の条件」とは、具体的にどのような条件か。
	2. 三島市民文化会館の利用者・観客のための駐車場のあり方について。
	3. 利用団体への駐車場提供の運用規定と利用状況について。
	4. 駐車区画を見直し、利用者への駐車台数の増加を図れないか。